



雪谷の清流

岩手県立軽米高等学校
学校通信58号
令和3年1月18日発行

祝 卓球部男子 東北大会（山形県天童市）出場決定

12月19日(土)・20日(日)に行われた第44回東北高等学校選抜卓球大会県予選会(宮古市)において男子団体が決勝リーグ第1位となり、2月5日～7日に開催される東北大会(山形県天童市)に出場が決定しました。この予選会は、県新人大会優勝校を除く上位校による東北大会出場第2・第3代表枠を競う大会でした。軽米男子チーム(池端皇、川原歩士、福田柊真、間澤康大、圃田康生)は、予選リーグを4勝0敗で勝ち上がり、決勝リーグにおいても2勝0敗で1位となり、見事、東北大会第2代表枠を獲得しました。12月28日(月)には、役場を訪れ、山本町長に予選会報告と東北大会への抱負を述べてまいりました。



卓球部5名と本田部活動指導員(右端)

大橋 幸音さん(2-2) 岩手県読書推進運動協議会長賞受賞



夏休みの課題として提出された読書感想文の中から、校内審査を経て第66回青少年読書感想文全国コンクール(毎日新聞社主催)に応募した大橋幸音さんの作品が、岩手県読書推進運動協議会長賞を受賞しました。

大橋さんは、本屋で見つけた『時間は存在しない(カルロ・ロヴェッリ著)』という言葉に魅了され、この本を選んだそうです。著者は「物理学的に時間は存在しない」という考察を展開するも、哲学や脳科学、宗教や文学などを用いて、なぜ私たちが時間を存在するものだと感じるかを説いているそうです。ぜひ皆さんも読んでみてください。

県高校総合文化祭 書道部門、美術工芸部門 入賞多数

第43回岩手県高等学校総合文化祭において、多数の入賞がありました。

〈デザイン部門 入選2名〉

細谷地なな(3-1)、吉岡菜々海(3-1)

〈第1種 漢字・仮名 入選4名〉

小笠原穂香(3-1)、中村佳寿美(3-1)、
小林祐佳(2-1) 田中雄介(2-1)

〈第1種 漢字仮名交じり 入選7名〉

荻敷山杏寿(3-1)、中村佳寿美(3-1)、小林祐佳(2-1)
井戸渕拓巳(2-1)、上澤千夏(2-1)、小林颯太(1-2)、
戸田結夏(1-2)

12月18日(金)授業納め式の日、全校生徒への紹介と賞状伝達が行われました。



軽米町書き初め大会 1/6 (水)

新年を迎え、軽米町中央公民館で開催された町新春書き初め大会に書道部員5名が参加しました。それぞれ今年の抱負や決意、理想を表した言葉を選び、多くの時間を費やして練習し本番に臨み、小中学生、一般の方々とともに心をこめて、書き上げました。真剣な表情で一筆一筆書き進める姿には頼もしさを感じました。書き初め終了後はお楽しみ抽選会があり、高校生はその抽選会のお手伝いをさせていただき、小学生と楽しく交流することもできました。小学生たちのよいお手本になったのではないのでしょうか。



冬季課外 12/20 (日) ~ 大学入試対策・遠隔講座・面接練習など



3年生Bコースの生徒は、1月に行われる大学入試共通テストに向けて、最後の追い込みを実施しました。1・2年生は、コース別に分かれ実施しました。2年生Aコース生徒は、外部講師による面接指導や就職ガイダンスを実施、1年生と2年生Bコース生徒は、基礎力の向上に取り組みました。また、12月25日(金)には、県教育委員会の企画による小論文講座をオンライン授業により受講しました。

大学入学共通テストに挑む

3年生15名が1月16日(土)・17日(日)に大学共通テストを岩手大会場にて受験しました。初日は地歴公民・国語・外国語、2日目は理科と数学です。これまで学んできた力を十分に発揮して目標点をとってほしいと思います。帰校後、18日には自己採点を行い、個別試験に向け再スタートを切りました。合格までの道のりはあと一息ですので、今後も応援をお願いいたします。



出発当日の朝、在校生や教職員に見送られる受験生

科学の扉に参加 12/5 (土)



花巻市・県立総合教育センターにて

県立総合教育センターを会場に「科学の扉」が行われました。県内18校64名の高校生が参加し、本校より3名の生徒が参加し、物理と化学の講座を受講しました。「科学グランプリ」や「科学の甲子園」等で扱われた実験や問題を素材とした再現実験等が行われ、科学に対する関心・意欲を高めることができました。また、他校の生徒と同じグループで協力しながら実験を行うことで、科学に興味を持つ仲間として交流をすることができ、参加した生徒にとって大変刺激となった講座でした。

「雪谷の清流」は右のQRコードにより
学校ホームページからも閲覧できます⇒

